# モラトリアムが終了すると差し押さえが大幅に増加します

**ATTOMの2021年第3四半期の米国差し押さえ市場レポートによると、第3四半期に差し押さえが提出された物件は45,517件あり、第2四半期から34%、1年前から68%増加しました。9月に差し押さえの申告があった19,609の物件があり、前月比で24%、前年比で102%増加しました。**

「9月に差し押さえ活動のレベルが上昇したにもかかわらず、私たちは歴史的に通常の数をはるかに下回っています」と、ATTOM企業であるRealtyTracのエグゼクティブバイスプレジデントであるRickShargaはリリースで述べました。「9月の差し押さえ行為は、2019年9月のCOVID-19パンデミック前よりもほぼ70%低く、第3四半期の差し押さえ活動はその年の同じ四半期よりも60%低くなりました。今後数か月の間に差し押さえが同様に増加したとしても、通常の住宅市場で見られるものを大幅に下回る年末になります。」

貸し手は、第3四半期に25,209物件の差し押さえプロセスを開始し、第2四半期から32%増加し、1年前から67%増加し、2014年以来の最初の2桁の四半期パーセントの増加を記録しました。

第3四半期に差し押さえの開始数が最も多かった州には、カリフォルニア（3,434）が含まれていました。テキサス（2,827）;フロリダ（2,546）;ニューヨーク（1,363）;およびイリノイ（1,362件の差し押さえが開始）。最も多くの第3四半期の差し押さえの開始を投稿したレポートで分析された大都市圏にはニューヨーク（1,456）が含まれていました。シカゴ（1,122）;ロサンゼルス（1,102）;マイアミ（992）;とヒューストン（866）。

人口が100万人を超え、第3四半期に差し押さえが減少した大都市圏には、ノースカロライナ州シャーロット（32%減）が含まれます。オレゴン州ポートランド（26%減）。ニューヨーク州ロチェスター（17%減）;カリフォルニア州サンノゼ（13%減）。コネチカット州ハートフォード（6%減）。

「これまでのところ、政府と住宅ローン業界は協力して、差し押さえのモラトリアムと住宅ローンの差し押さえプログラムを使用して、何百万もの不要な差し押さえを防止します」とSharga氏は述べています。「しかし、今後2か月以内に数十万人の借り手が債務不履行に陥る予定であり、これらの借り手が債務不履行に陥る割合が高くなる可能性があります。」

第3四半期に差し押さえ率が最も高かった州はネバダ州でした（差し押さえの申告がある住宅ユニット1,463件に1件）。イリノイ（1,465人に1人）;デラウェア（1,515人に1人）;ニュージャージー（1,667人に1人）;およびフロリダ（1,743人に1人）。

分析された、第3四半期に差し押さえ率が最も高かった大都市圏には、ニュージャージー州アトランティックシティ（709人に1人）が含まれていました。イリノイ州ピオリア（754人に1人）;カリフォルニア州ベーカーズフィールド（923人に1人）;オハイオ州クリーブランド（936人に1人）;ラスベガス（1,167人に1人）。

第3四半期に完了した差し押さえの数が最も多かった州には、イリノイ州（965 REO）が含まれていました。フロリダ（564 REO）;ペンシルベニア（480 REO）;ミシガン（401 REO）;およびニューヨーク（370 REO）。

第3四半期に差し押さえられた住宅の平均差し押さえスケジュールが最も長い州はハワイ（2、070日）でした。ネバダ（1、989日）;カンザス（1、901日）;ニューヨーク（1、659日）;とワシントン（1、611日）。平均差し押さえのタイムラインが最も短い州はモンタナ（94日）でした。ワイオミング（102日）;ミシシッピ（133日）;ミズーリ（213日）;およびバージニア（272日）。

PROVIDENT TITLE COMPANY

SOURCE: The Title Report https://bit.ly/3H77xHe